



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.72



7月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : http://www.kankou-fa.jp

2009年7月1日

「モノ」の時代の先へ進もう

新会長 中山 庚一郎

6月15日の理事会で、09～10年の会長に指名されました。

このところの観光界は、インバウンドの伸びも止まり、ホテル旅館の稼働率も下がり、安値競争や老舗の倒産、競売も止まるところを知らず、大変な時代にあります。

しかし、苦ノアトニハ楽アリ、私はこの困難を乗り越えれば必ず良くなると、信じております。

このような時に会長に指名されたわけですが、ふり返れば1953年に設立されたこの協会も、これまでに何度もこのような危機を乗り越えてきたのです、この協会は、なにか大きな力を持っているように思えます。そのひとつは、「人のちから」です。

私は次の三つのちからに着目しています。

- 1 故 柴田陽三会長の作り出した「観光交流空間」のちから
- 2 前 村尾成文会長の作り出した観光領域の拡大とすばらし会員メンバー
- 3 日本の知恵袋とも思える涌井史郎副会長の提唱する「生活の風景」のちから

私はこの三つの勝れたちからを生かした公益性の高い活動を行い、協会の社会的な知名度を高めていきたいと思えます。具体的には下記のようなことを考えています。マネジメント会員との観光交流空間のまち

づくり研究会を充実する。

地域活動である温泉のまちづくりフォーラムの成果をあげる。

観光地評価をはじめめる。

インバウンドに向けた施設ツールを社会に提供する。

エコロジーや安全の新しい技術を社会に提供する。ホテルショーなどで売れっ子技術屋の相談横丁をはじめめる。

地域社会は今、観光によって必死に活性化を図ろうとしています。私達のこのような公益活動の様子の報道は、協会の社会的な認知度を高め、これに参加する専門家としての企業会員は各地に人脈を広め、公益活動をする会員企業の評判を高めるでしょう。そのような流れを作りたいと思っています。

また、もうひとつの課題はその公益活動の広がりによって新・公益社団法人 国際観光施設協会に移行することです。

いずれにしても、無のなかに有を作り出す活動です。協会の持つこのすばらしいメンバーの力で「モノ」の時代の先へ進み、「コト...感動」という無形の価値の時代を確立すべく、会員全員の力を合わせて、前進しましょう。

平成21年度通常総会と関連行事 ～報告～

去る6月15日午後、早稲田大学大隈記念講堂にて、平成21年度通常総会が開かれました。総会議案は滞りなく承認され、任期満了に伴う役員改選では、新会長に中山庚一郎氏が決まり、退任された村尾会長・平田副会長は相談役になりました。総会后、「大隈講堂の保全・再生」について、設計を担当された(株)佐藤総合計画 関野執行役員の講演会が行われ、たいへん興味深い内容でした。その後行われた情報交歓会も盛況でした。

総会の次第はつぎの通りです。

総会に先立ち観光庁長官 本保芳明氏にご挨拶をいただきました。

議案

- ・平成20年度事業報告 中山副会長
- ・平成20年度収支決算報告 平田副会長
- ・平成21年度事業計画(案) 涌井副会長
- ・平成21年度収支計画(案) 平田副会長
- ・役員選任

新理事による理事会 役職役員などが決定されました。

永年功労者表彰3名(敬称略)

役員永年 山方茂利・兼平 慎 委員永年 馬場博久

退任役員は6名(敬称略)

平田純一・村尾成文・桂 真人・佐藤陸雄
太田雅晴・南 三一郎

新入会員紹介4社(入会月日順)

(株)アステック・フィッシャー・ジャパン(株)
江中伸広・石井亜由美

情報交歓会では観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り次の方々にご祝辞をいただきました。(参加者150名)

日本観光協会 会長 中村 徹氏
国際観光振興機構 理事長 間宮忠敏氏

役員改選 報告

6月15日の平成21年度通常総会で役員25名・監事2名が改選され、新しい役員による理事会で下記の通り会長・副会長・常務理事が選任されました。

平成21年度・22年度 役員名簿(敬称略)

会長

中山 庚一郎 (株)石井建築事務所

副会長

涌井 史郎 桐蔭横浜大学

山方 茂利 (株)フジマック

森 一朗 (株)デザインの森

常務理事

横山 孝治 (株)山下設計

鈴木 裕 (株)観光企画設計社

内川 正人 国際観光施設協会

兼平 慎 (株)乃村工藝社

立石 博巳 (株)ヒガノ

理事

吉田 正嗣 日本観光協会

橋本 雅之 日本ホテル協会

小関 政男 国際観光旅館連盟

中村 義宗 日本観光旅館連盟

中山 智雄 全日本シティホテル連盟

大村 鐵太郎 安井建築設計事務所

花又 昇 (株)大塚家具

青木 健三 (株)ピーエーシー

金光 義和 (株)アルテジャパン

佐藤 英嗣 (株)久米設計

北 泰幸 (株)竹中工務店

関口 仁也 パナソニック電工(株)

八木 忠彦 (株)大気社

佐藤 四郎 (株)日比谷アメニス

馬場 博久 美和ロック(株)

柴田 正美 (株)I N A X

監事

伊藤 肇

野村 章次 (株)関電工

施設見学会「ホテル龍名館」報告

6月1日に開業したホテル龍名館東京を開館直前の5月25日に見学させていただきました。

ホテルの見学後、大塚家具日本橋店を会場にして、(株)龍名館取締役支配人の水野豊様、建築設計に携わられた(株)大林組の三宅賢一様、インテリア設計をされた株式会社クリエイティブ・リノベーション・グループジャパン(CRG ジャパン)の大良隆司様にご講演をいただきました。水野支配人様からは特に、ホテルの激戦地、東京駅周辺で名門旅館龍名館の出店戦略を説明いただき、それに対して設計サイドがどう応えていったかをうかがいました。

龍名館様のご協力で、オープン直前の緊張感にあふれた見学会になりました。

「三菱一号館見学会」 報告

小雨に烟る5月28日午後、復元なった三菱一号館及び、丸の内パークビルの見学会が行われました。

明治27年7月に竣工し昭和43年に一度解体され今年40年ぶりに明治の俤(おもかげ)がよみがえりました。有名なジョサイヤ コンドル氏の設計による三菱煉瓦街は「一丁ロンドン」と呼ばれ、その先進的形態と繁栄はつとに有名です。

三菱地所設計の清家所長様鈴木副所長様のご案内で細部までご説明を頂き、また最新鋭のパークビル内も見学出来て参加者の皆様は満足されたと思います。

見学後フジマック山方様のご好意によりルクソールにて交流会が行われ、話しに花が咲き清家様も出席され友好の輪が広がり、成功裡に終了しました。

「第四回観光交流空間のまちづくり研究会」報告

6月2日~3日に長野県松本市白骨温泉にて第四回観光交流空間のまちづくり研究会を開催しました。

新緑の大変美しい上高地・白骨にて30名を越す方にご参加いただき有意義な会となりました。

初日は環境省のご協力を得て、一般車両の入場を禁止し自然環境の保全をめざしている上高地を歩き、自然との共生による取り組みが観光に与える効果について学ぶことができました。

2日目には白骨温泉を視察した後、斎藤旅館にて研究会を開催しました。まず、「上高地の生物多様性の保全について」環境省の大坪所長より具体的な活動事例をご講義いただきました。次に「白骨温泉の伝統と歴史について」丸永旅館の服部様に、当地近くを通っていた鎌倉街道の研究をうかがい、観光資源としての歴史の大切さを勉強しました。

最後に「白骨温泉のまちづくりとその進め方」についてまちづくり委員会の斉藤委員長と倉橋委員(当協会員)にお話しをいただきました。行政及び建築家と一緒に20年ちかくもまちづくりを進めてこられた成果は着実に形となっており、何よりも地域が一体となって活動する姿勢がまちづくりにとって大切であることを学びました。山間にひっそりと佇む白骨温泉は、これからも秘境として魅力を失うことなく着実に発展していただきたいと思います。

♥編集後記♥

定期総会で行われた役員改選に伴い、新たに就任された中山会長より、これからの会の事業について方針が示され、観光施設を中心とした観光交流空間全体の整備事業を積極的に進めていくことが確認されました。今後これらの事業をよりスムーズに展開するためには、新たな事業に合わせた定款へ向けて現在の定款の一部改定が不可欠であります。次年度の総会時に決議いただけるよう、改定準備作業を進めてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。Y.K